Ultima® III

ウルティマⅢ：エクソダス

—EXODUS—



真古代祈とう書

ORIGIN

PONY CANYON

この真古代祈とう書は、当教派によって３千年間伝えられた物である。幾世代もの管理者の手に委ねられたるも、門外に持ち出されたことはない。今ここに、汝を新たな管理者として迎えるにあたり、一語一句なりとも他に漏洩することなきよう守られんことを願う。これに記された祈とうの数々は、計り知れない恩恵をもたらすものであるが、修行を積まぬ者が使用したならば、その者に恐ろしき災厄が降り注ぐことになる。また、これら神への祈りの言葉は、世の邪悪なる物との戦闘において、汝に力を与えることとなろう。

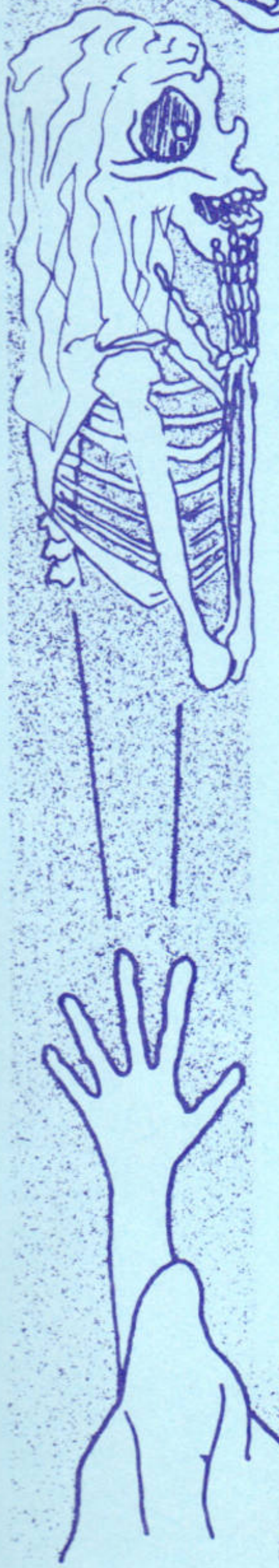
祈とうの呪文は、力の弱い順に記されている。その多くは、幾多の道を歩み大いなる知恵を身につけた後にのみ、行使できるものである。全身全霊をこれに捧げるならば、奇跡を起こす力が、いずれ汝にも宿るであろう。精進によって手にすることができる奇跡の力は、人の生死をも左右するものである。この尊い力は、世界の浄化のために使われるべきものである。決して、軽はずみに使うことなかれ。

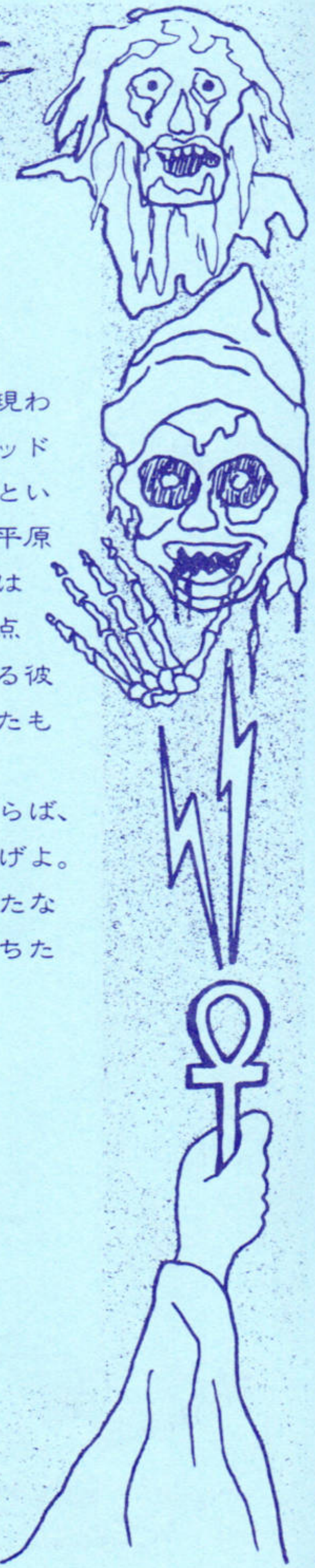
いざ、この暗黒の時代に臨みて、我が祝福を受けよ。常に真実の希求を忘れるなかれ。真実こそ、無限の力の源なればなり。

予言者
アリゼルカノン



A. PONTORI

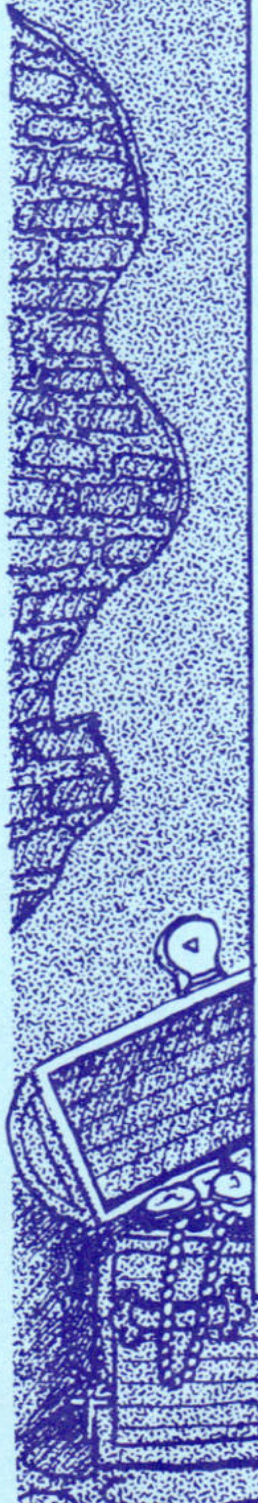




悪は様々な形となってソーサリアに現われるが、中でも邪悪なものは、アンデッドである。スケルトン、ゴール、ゾンビといったアンデッドは、ダンジョンや森や平原を我が物顔に歩き回っている。これらは敵し難い相手ではあるが、根源的な弱点を持っている。悪の手先として活動する彼らは、魂の抜けた人の屍に、悪が宿ったものなのである。

汝、これらアンデッドに遭遇したならば、彼らに対して真実のアンクを高々と掲げよ。真実の心を力強く持って立ちはだかったならば、悪の呪いは解かれ、あとには朽ちた屍だけが残されるであろう。





B. APPAR UNEM

旅の途中に発見される宝箱には、罠が仕掛けられていることが多く、汝および汝の仲間が、それにより傷つけられる恐れがある。悪の本質を見極める目を持つ汝にすれば、このような障害は、物の数ではない。

汝および汝の仲間を傷つけることなく宝箱を開けるには、錠前に聖水を１滴たらし、真実の神の助力を祈りながら、聖なるアンクを宝箱の上にかざせ。されば、箱は何事もなく開き、汝はその中身を自由に取り出すことができる。





C. SANCTU

治療の力が必要とされることは多い。軽い怪我程度であれば、この簡単な祈とうで十分に効果がある。汝の無我無欲の魂が、この世に真実と善の力を純粋な形で導きだす。

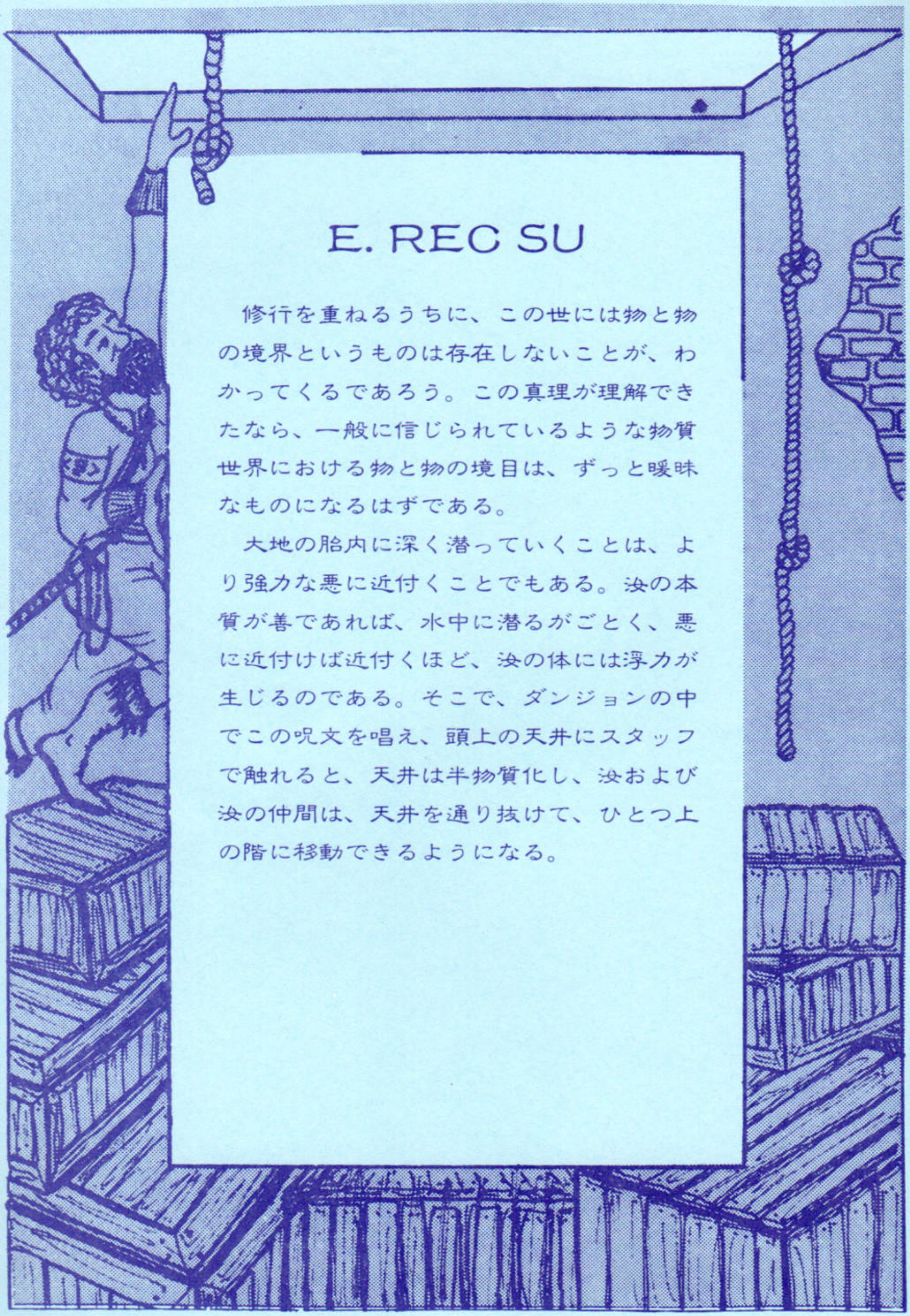
治療を望む者に手をかざすだけで、汝の手が当てられた傷は癒される。始めのうちは、治療の力は限られているが、経験を重ねることによって、その力は強力なものに成長していくであろう。



D. LUMINAE

闇に光をもたらす力は、しだいに汝の肉体を離れることが可能になってくる。汝の手には、呪文によって物体を光り輝かせる力が秘められているのである。スタッフを高々と掲げ、この呪文を繰り返し唱えよ。されば、汝の真実の力で、汝の手のスタッフから青白い柔らかな光が発せられるであろう。

ただし、この光は永遠に輝くものではないから、注意されよ。汝がスタッフに与えた力は、光となって消耗し、しだいに暗くなり、やがては消えてしまう。



E. REC SU

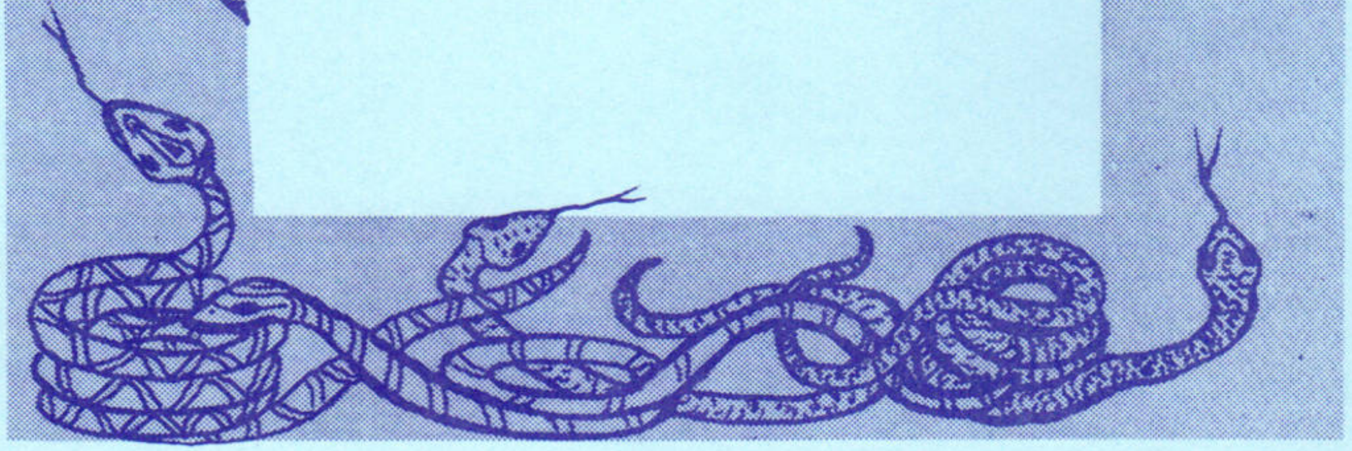
修行を重ねるうちに、この世には物と物の境界というものは存在しないことが、わかってくるであろう。この真理が理解できたなら、一般に信じられているような物質世界における物と物の境目は、ずっと曖昧なものになるはずである。

大地の胎内に深く潜っていくことは、より強力な悪に近付くことでもある。汝の本質が善であれば、水中に潜るがごとく、悪に近付けば近付くほど、汝の体には浮力が生じるのである。そこで、ダンジョンの中でこの呪文を唱え、頭上の天井にスタッフで触れると、天井は半物質化し、汝および汝の仲間は、天井を通り抜けて、ひとつ上の階に移動できるようになる。



F. REC DU

物質を通り抜ける力は、上方にのみ働くものではない。はるか地底のダンジョンの最下階の、さらに地中深く、地球の核に流れ込む川があるという。これこそ、最も忌まわしき悪の住み処である。悪から離れようとする自然の浮力のため、また、恐怖が伴うため、下方への移動は上方への移動に比べて、やや困難になる。それでも、地下に向かって行きたいのならば、スタッフで床を叩きながら、この呪文を唱えるがよい。床は半物質化し、汝および汝の仲間は、徐々に床を通り抜け、ひとつ下の階へ移動する。



G. LIB REC

物体を通り抜ける呪文の中でも一番高度なものが、ダンジョン内での平行移動である。

LIB RECは前述のふたつの移動と、次の点において異なる。物体が汝を通過させるのではなく、汝自身が半物質化し、物体を通過するのである。ある地点で汝の実体を消滅せしめると、まったく別の地点で実体を結ぶといった具合だ。

これを行なうには、まず呪文を唱え、スタッフを汝の頭上に円を描くように回転させる。スタッフの回転を止めると、移動はその地点で止まる。

H. ALCORT

これは、解毒専門の治療である。毒は、生き物をほぼ確実に死に致らしめる、恐ろしい存在である。神の力の助けを借りることによってのみ、毒に冒された者を、その厄から救うことができる。

汝が手を当てることで、患者の血管に流れる毒は、命の液体に変換され、その者の肉体を癒し、魂をなごませる。

汝、解毒に成功したならば、それを誇るがよい。この力は、儀式を間違いなく確実に取り行なえる者にのみ、宿るものであるからだ。

I. SEQUITU

地下深く探検の足を伸ばそうとすれば、重大な危機に直面することは、珍しくない。パーティーのほとんどが殺されてしまうか、瀕死の重傷を負わされることもあるだろう。食糧が底をついてしまうこともあるだろう。道に迷って、出口を見失うこともあるだろう。

この呪文は、巨大な墓穴の底で、絶望する旅人の脱出せしめる、真実の力を求めるものである。聖なるアンクを高く掲げ、この呪文を叫べ。されば、汝および汝の仲間は、真実の力によって、深淵よりソーサリアの地表に導かれるであろう。

J. SOMINAE

汝の能力は着実に高まっている。そしてその幅は、夜空を満たす星々のごとく、絶えず広がり続けている。

汝が初期の頃に修得した真実の光の呪文は、実にすばらしいものであった。しかし、より大きな問題の解決を迫られるようになると、より長く輝く光が必要になってくる。

この呪文を唱えたならば、汝の体全体が真実の光に包まれる。しかし、この光とて、汝自身の内なる力を燃やして輝くものなれば、永遠に輝き続けることはできないと知れ。

K. SANCTU MANI

汝が旅に出てから、幾度となく草が生い茂り、種が芽を吹いた。様々な道を歩き、数多くの知恵を身につけたことだろう。そして、汝は、ついに真の奇跡が起こせるにまで致った。敵の剣によって切り刻まれ、あの世の門の前で死の恐怖に脅える友を、生の世界に引き戻す力が、今、汝のものとなったのである。

香油を小さな壺に用意し、それが完全かつ聖なる真実によって清められんことを祈れ。香油を負傷者の体に強く擦り込み、傷口深くにまで香油をしみ込ませよ。されば、汝の目前にて、肉体が結合しあい、傷は見る間に癒され、血液が再び血管に流れるであろう。





L. VIEDA

地図を紛失したとき、薄暗いダンジョンの迷路にはまったとき、鬱蒼とした禁断の森に迷い込んだとき、VIEDAの奇跡が、汝に道を示す。汝の魂が十分に清められていることが確かめられたなら、少量の聖水を汝のまぶたにこすりつけよ。されば、必要な時間だけ、汝の目に行くべき道が映るであろう。

精神統一が十分になされているなら、真実の奇跡は、汝の目前に広がる。ダンジョンにいようと、地上にいようと、汝の周囲の映像が手に取るように見えてくるのである。



M. EXCUUN

汝および汝の同志が、恐ろしく手強い敵と戦わなければならない場合がある。このような相手を倒すことは、かなり大変な仕事となろう。こんなときも、真実の祈とうの力が助けになってくれる。

汝が強大なる敵に遭遇したならば、ＥＸCUUNの奇跡を求めよ。聖なる真実のアンクを敵に向けて差し出し、奇跡の呪文を唱える。されば、まばゆい真実の光が敵に向かってほとばしり、敵の肉体は消滅するであろう。

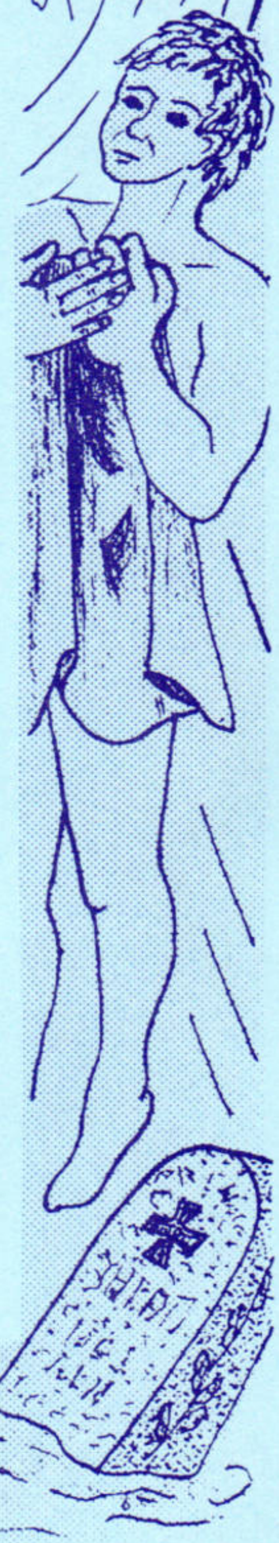


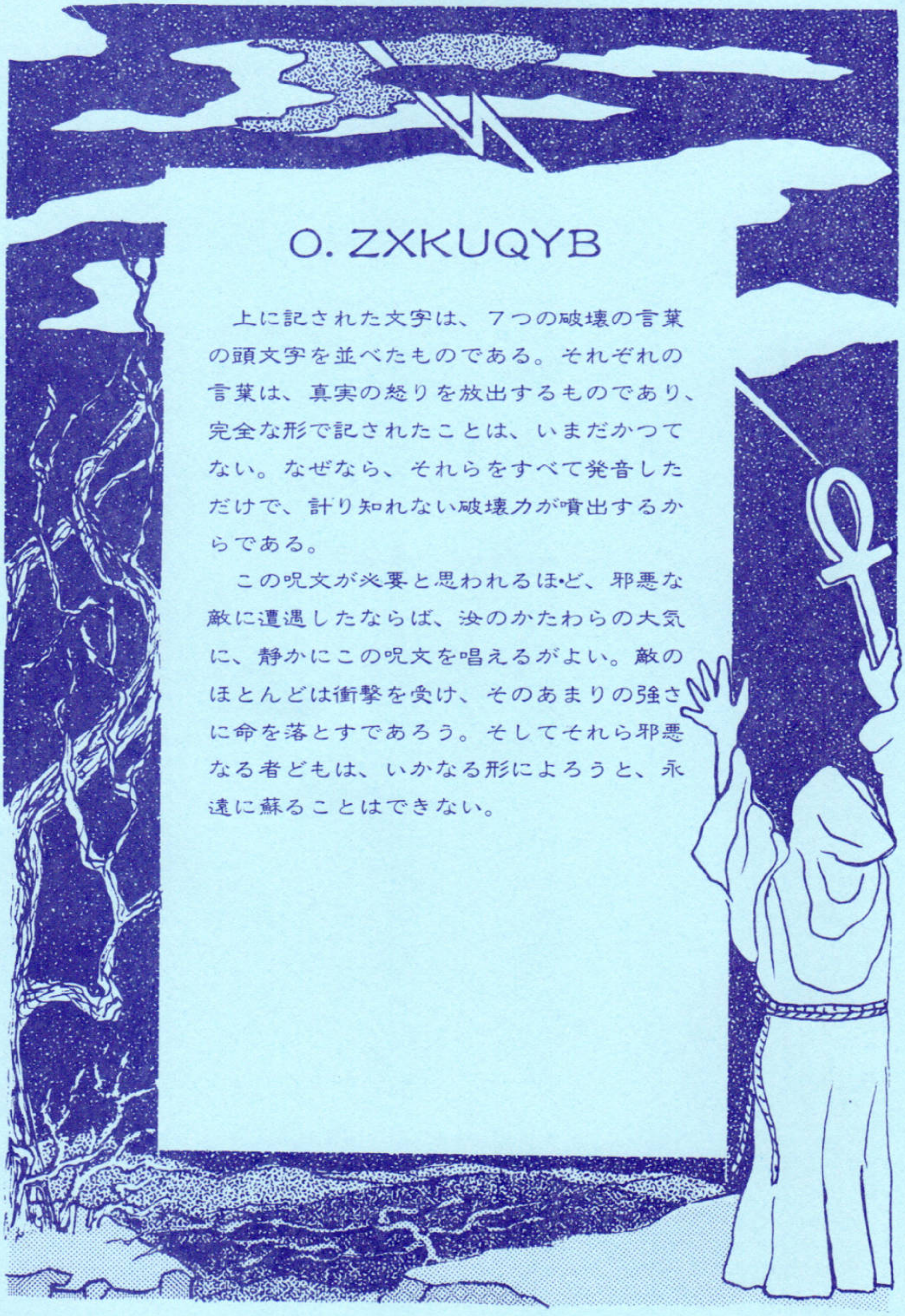
N. SURMANDUM



ここまでくると、汝の力は、この世のあらゆる限界を越える。すでに汝は、死の王国に歩み入り、その世界にさまよえる魂を、この世に引き戻す力を手に入れた。

汝の魂を肉体から解放し、死の闇に潜入せよ。そして、そこで眠りについている、かつての同志の魂に手を差し伸べて、この世に連れ戻すのである。されば、彼の魂は元の肉体に戻り、命が蘇る。ただし、呼び戻さんとする魂の意志の力が弱く、連れ戻すことに失敗したならば、彼の肉体は灰に帰してしまうであろう。





O. ZXKUQYB

上に記された文字は、７つの破壊の言葉の頭文字を並べたものである。それぞれの言葉は、真実の怒りを放出するものであり、完全な形で記されたことは、いまだかつてない。なぜなら、それらをすべて発音しただけで、計り知れない破壊力が噴出するからである。

この呪文が必要と思われるほど、邪悪な敵に遭遇したならば、汝のかたわらの大気に、静かにこの呪文を唱えるがよい。敵のほとんどは衝撃を受け、そのあまりの強さに命を落とすであろう。そしてそれら邪悪なる者どもは、いかなる形によろうと、永遠に蘇ることはできない。

P. ANJU SERMANI

ひとたび肉体が灰に帰してしまったなら、その魂は、新たなる生命に生まれ変わる。であるから、灰となった同志を蘇らせるには、想像を超えた強大なる奇跡の力が必要になる。

まず何より、呼び戻すべき魂を、新しく生まれ変わった生命から引き離さなければならない。失われた同志が、汝の知恵５ポイントと引き替えにしてまでも蘇らせたいほどに、偉大であったというなら、真実と知恵の神に祈れ。汝の両目の涙を同志の灰に落とし、よくかき混ぜる。されば、灰は肉体に戻り、かつての同志は蘇るであろう。

肉体ばかりか、すべての思いが、感情が、永遠の過去から未来永劫そうであったかのように、その隅々におのおのの落ち着く場所を決めている家の中にあって、彼は居心地悪く、人知れず身悶えていたのである。

I, Lord British, would like to acknowledge the following persons for their invaluable assistance in creating this book.

Margaret Ellen Weigers, for the majority of works herein.

Roe R. Adams 111, for the introduction and conceptual assistance.

Richard A. Garriott for a great deal of uneducated editing.

Robert, Marcy, Owen, and Helen Garriott for educated editing.

A special thanks to Helen M. Garriott for the wonderful illustrations throughout this book.